

道央 AREA

札幌・走山溪・千歳
小樽・ニセコ・洞爺湖

道東 AREA

十勝・帯広・釧路
根室・網走・知床・阿寒

道南 AREA

函館・江差・奥尻

道北 AREA

大雪山・美瑛・富良野・稚内
宗谷・留萌・利尻・礼文

ルート一覧

ゆとり イベント一覧



松前藩屋敷

松前藩屋敷

藩政時代の町並みを再現したテーマパーク。武家屋敷、回船問屋、沖の口奉行所など14の建物を忠実に再現。



松前88ヶ所トレッキング

地元人から親しまれているトレッキングコース。四国のお遍路巡礼に似たり、88のお地蔵様を回る。



函館山トレッキング

標高334m。函館市街地を一望できる絶好の夜景スポット。山麓から山頂までロープウェイも運行している。



元町散策

明治期、商業の中心地として栄えたエリア。今では洋風建築物が立ち並び、映画・CMのロケ地として有名。

歴史の足跡を辿る
徒歩の旅



突然、無性に歩きたくなる。だけど、ただあてもなく歩くだけじゃつまらない。歴史の足跡をなぞるような、そんな旅がしたくて道南を訪れた。

最初に向かったのは、かつて松前藩の拠点地だった松前。ここで「將軍山靈場八十八ヶ所巡り」を知る。これはお寺でなく、88のお地蔵様を回るそうだ。一体一体に手を合わせると、不思議と心が安らいでいった。

2日目、江差を訪れる。昔の間屋や商家などが並ぶ「いにしえ街道」を歩いた。するとどこからかいい匂いがしてくる。たどっていった先に食堂。糠蕎麦が名物らしい。お昼は食べたけど、この匂いに逆らえるはずがない。糠のまちで、糠蕎麦を味わった。

3日目、「函館山」に登る。今でこそ夜景スポットとして有名だけど、太平洋戦争終戦まで要塞として使われていたらしい。人々から愛されているこの山にも、そんな歴史があるんだと、感慨深い気持ちになった。

最終日は「てくてくはこだて」のボランティアガイドさんと一緒に元町を散策する。こうして初対面の人と時間を共有できるのも、一人旅の醍醐味だろう。それぞれの歴史に互いを刻み、僕は路面電車に乗り込んだ。



- 1 函館空港から移動→車・約40分(約31km)→トラピスト修道院 →
車・約1時間20分(約70km)→松前藩屋敷→松前88ヶ所トレッキング→
松前藩主の婚礼料理→松前町に宿泊
- 2 上ノ国 勝山館跡→上ノ国の山海の幸→車・約13分(約9km)→江差追分体験→
車・約25分(約19km)→厚沢部「喜多里」焼酎工場見学・試飲→
車・約1時間(約45km)→大沼に宿泊
- 3 大沼国定公園 遊覧船島めぐり→車・約40分(約25km)→
五後部タワー→車・約10分(約5km)→函館山トレッキング→車・約14分(約7km)→
函館湯の川に宿泊
- 4 函館市内路面電車で探訪→
元町散策・ショッピング ボランティアガイド「てくてくはこたて」→車・約14分(約9km)→
函館空港

婚礼料理から 郷土料理までを堪能する



松前藩主の婚礼料理

松前藩主が婚礼の際にふるまった料理を味わえる。京都から伝わったといわれる白玉に餡が入った「九いらん」や、くし汁、寄せ豆腐など、見た目にも美しい料理の数々が並ぶ。



勝山館跡ガイド施設

1470年頃に松前家の始祖である武田信広が築いた勝山館を1/200復元模型、コンピュータグラフィックスなどで紹介。現在も発掘が続く勝山館内は散策も可能。

遊覧船や市電に乗っての 散策もおすすめ



大沼国定公園 遊覧船

駒ヶ岳の裾野に広がる面積約9,083haの国定公園。園内には約126もの島があり、それらを遊覧船で散策することができる。所要時間は約30分。遊覧船のほか、「島巡り遊歩道」も整備されているため、歩いて島を回ればスイレンなど四季折々の花も楽しめる。



函館市内 路面電車

函館市内には湯の川・谷地頭、函館どっく間を路面電車が走っている。元町、ベイエリア、五後部といった観光スポットを網羅しているため、観光の足としても便利。運賃は200～250円。4月中旬～10月下旬の間はしほり車両「箱館ハイクラ號」が運行。

TOP > 道南エリア > 函館・南北海道の旅

彩北の旅

知床の旅

ニセコの旅

釧路・阿寒の旅

函館・南北海道の旅

スローな魅力溢れる5つのゆとりコースをご紹介します。

社団法人 北海道観光振興機構

〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤加藤ビル5階
電話 011-231-0941 FAX 011-232-5064